

福島市 農政だより

編集・発行
福島市五老内町3番1号
福島市農政部農業企画課
発行責任者
農政部長 清野 良彦

令和5年度 福島市農業賞 受賞者が決定

令和5年度の福島市農業賞には、農業賞に1名、1団体、農業奨励賞に1名、1社が輝きました。生産力向上、販路拡大に努力を重ねてきた方々を紹介します。

農業賞 野田果樹共同防除組合
(宮農集団部門) 笹木野原第二防除班



農業賞 梅宮 照彦さん
(園芸部門) <鎌田>

大型施設でキュウリ栽培
JAふくしま未来福島地区の部会長として、地域のキュウリ栽培の核となっている。栽培面では環境制御技術や自動かん水設備等の新技術を導入し、収量の増加、品質の安定化を図っている。



萱場ナシを守る集団防除

昭和40年に設立。防除組織が年々減少する中、後継者育成に努め組織を維持。17haを超えるナシ畑で年間20回以上防除活動を行い、園地を守っている。研修会等に参加し、栽培技術や病害虫の情報を共有して活動に役立てるなど、地域農業の貢献が顕著である。

農業奨励賞 未来農業株式会社 <松川>
(地域活性化部門) (代表取締役 丹野 友幸さん)

酒米栽培 強い探求心

後継者不足の地域の将来を見据え、平成28年に法人化。食用米に加え、酒造好適米の栽培に力を入れている。若者向けの日本酒プロジェクトや6次化にも積極的に取り組んでいる。福島地域酒米研究会会長の務め、福島大学食農学類2期生として勉学に励む。



農業奨励賞 伊藤 由英さん
(次世代農業者部門) <飯坂>

挑戦の姿勢貫く

平成30年に就農し、父の果樹園を継いだ。新規就農者の研修受け入れや道の駅ふくしま生産者組合副会長に就任するなど、積極的な活動を展開している。福島ゆかりの品種を増やす等、優良系統の導入を促進し、顧客の満足度向上に努める。



「仁井田地域資源保全会」が特別賞を受賞!

受賞を報告する油井健治会長(左)と八巻敏之さん



多面的機能支払交付金に取り組む「仁井田地域資源保全会」が、令和5年度福島県多面的機能支払交付金優良活動表彰で特別賞を受賞しました。地域内のさまざまな団体と連携した農業体験等の世代間交流活動が評価されました。市HPに詳細を掲載しておりますので是非ご覧ください。

多面的機能支払交付金は、農業者団体の地域資源保全活動や農村コミュニティの形成活動等に活用されています。事業の詳細はお問い合わせください。



<農林整備課 農業施設係> 電話(525)3728

6次化への取り組みを応援します!

生産した農産物を加工して販売したい、他業種と連携して商品開発をしたいなど、6次化にチャレンジする方や気になっている方、既に取り組んでいる方を応援します!

1) 6次化相談員・6次化アドバイザーによる相談対応

6次化に取り組みたいけど何から始めればいいのか分からない、資金面が心配、専門家のアドバイスを受けたいなど、6次化に関するお悩みに相談員が対応します。

また、6次化アドバイザーが6次化商品の開発・改良をお手伝いします!



相談の申し込みはこちら



6次化商品の例

2) 情報発信

市や県が実施する6次化補助事業や交流会、イベントなどに関する情報をメールで随時配信しています。

3) 「わくろく(わくわくな福島市の6次化)発信プロジェクト」

市産の6次化商品を市ホームページや公式SNSで紹介・PRします。登録のお申込みをお待ちしています!



配信の申し込みはこちら



登録の申し込みはこちら

〈農業振興課 販売促進係〉
電話(529)7663

補助申請受付中!

炭化器で剪定枝を炭に

化学肥料の施用低減を図る取り組みを支援するため、炭化器等の購入費用を補助しています。残り100名余りの申請受付が可能ですので、冬期剪定に向けて、炭化器の活用をご検討ください。

1 対象者(次の2つの要件を満たす方)

- 市内に住所を有する果樹販売農業者等で市税の滞納がない方
- 令和4年11月9日以降に炭化器等が納品され、販売業者に対する支払いを終えている方



2 対象製品

- 炭化器と炭化器用の火消し蓋

3 補助額

- 炭化器等の購入に要した費用(消費税を除く)の1/2以内
- 上限80,000円 ※送料は除く
- 1経営体に対し、補助は1回のみ

※申請受付は、予算上限に達し次第終了します。

市ホームページにて、現在の受付状況を随時更新しておりますので、あわせてご確認ください。



市HPはこちら

〈農業振興課 生産振興係〉 電話(525)7720

震災後に初めて“水稲・大豆”を作付けする方へ

令和6年に「震災後一度も作付けされていないほ場」で、水稲または大豆(枝豆を除く)を作付けする場合、放射性物質の吸収抑制対策のため、土壌中の交換性カリ含量を高める必要があります。

該当するほ場に作付け予定の方は、各期日までに下記にご連絡ください。カリ質肥料の散布実績がないなどの要件を満たす場合に限り、カリ質肥料を配布します。

なお、土壌中の交換性カリ含量を高めるためには、稲わらのすき込みや堆肥の投入による土づくりに加えて、慣行の基肥(窒素・リン酸・カリ)を施用することが重要です。稲わらは、ほ場の外へ継続して持ち出さないようお願いします。

●震災後初めて水稲を作付けされる方

令和6年2月22日(休)まで

●震災後初めて大豆を作付けされる方

令和6年3月29日(金)まで



〈農業振興課 生産振興係〉 電話(525)7720

令和5年産米のモニタリング(抽出)検査の結果について



県が福島市を対象に実施した令和5年産米のモニタリング(抽出)検査では、検査した全ての検体で測定下限値(10ベクレル/kg)未満となりました。

検体の提供や結果公表まで出荷等の自粛にご協力いただきました生産者の皆さまにお礼申し上げます。

なお、福島市の米の安全・安心の確保のため、出荷の際は、米袋の中に異物(土やほこり)が混入しないようご注意ください。

●検査方法

作付けのなかった旧土湯村を除き旧市町村30区域で1点ずつ、計30地点の玄米を採取

●検査結果公表時期(出荷等自粛解除時期)

令和5年8月28日~10月12日

詳細は、市ホームページ(QRコード)をご覧ください。



市HPはこちら

〈農業振興課 生産振興係〉 電話(525)7720



福島大学公式マスコットキャラクター めばえちゃん

こんにちは、福島大学食農学類です 第13回『乳酸菌の健康機能』

福島大学食農学類食品科学コースの熊谷武久です。民間の食品会社で30年間研究開発に携わった後、福島大学に着任しました。主な担当科目は「食品加工学」、「食品の機能」です。研究面では植物由来の乳酸菌をテーマとしています。

乳酸菌はヨーグルトをはじめキムチなど色々な食品に使われています。健康機能は少し前までは「おなかの調子を整える」くらいでしたが、最近では、「健康な人の免疫機能の維持に役立つ」、「ストレスをやわらげ、睡眠の質を高める」、「ホコリやハウスダストなどによる鼻の不快感を軽減する」などさまざまな新しい機能が見つかっていきます。

福島県産の発酵物から乳酸菌を分離・同定して、加工特性・健康機能性を検討しています。これまでに200株ほど分離して、面白い乳酸菌が見つかり始めています。福島県の発酵物から見つかった乳酸菌の研究をベースに、新しい発酵食品が発売されることを夢見しています。皆さんの健康な生活、食品会社の研究開発にお役に立てればと思っています。



熊谷武久 教授



酒粕から分離した乳酸菌の顕微鏡写真。細長い長方形で一部の菌は連鎖しています

各地で『地域計画』を話し合っています

11月から12月にかけて、水保地区をはじめ12のエリアで話し合いを行い、地域の現状や課題、将来の農地の在り方について、今後「何が出来るのか」、「何をしなければならぬのか」などを意見交換し、将来に向けて地域の特性を生かした持続可能な農業について話し合いました。

水保 大波 立子山 松川 佐原 飯野 佐倉下
杉妻・清水町・田沢 大森 鳥川 清水 平田

1月から3月にかけても、市内各地で、認定農業者を中心に話し合いを開催します。農地1筆ごとに将来の担い手を割り当てる目標地図を作成しながら、地域として5年後、10年後の農地をどうしていくのか、話し合いを通して考えていきます。

地域計画（人・農地プラン）とは

- ・ 将来に向けて、地域が目指すべき農業や農地利用の姿（在り方）を示す計画です。
- ・ 地域の皆さんが中心となり、話し合いによる計画づくりを行います。
- ・ 策定期限は令和7年3月です。

〈農業企画課 農業担い手係〉 電話(525)3740
〈農業委員会事務局 農地係〉 電話(525)3779



新たな作物の導入に取り組む～大森～

大森は水稻や野菜類、果樹などが耕作されている地区です。資材等の高騰により負担が大きい中、今後も個々の農業者の意見を尊重しながら新たな作物の導入に取り組んでいくことなどを話し合いました。



福島市の地域計画促進イメージキャラクター「人・農地くん」



市HPはこちら

農業者年金で安心、豊かな老後を！

次の要件をすべて満たす方は加入できます。

- ①65歳未満
- ②年間60日以上農業に従事
- ③国民年金の第1号被保険者
- ※保険料納付免除者でないこと
- ※60歳以上は国民年金の任意加入被保険者

＜特徴＞

- 積立方式、確定拠出で少子高齢化に強い
- 保険料は月額2万円（35歳未満で政策支援加入の対象とならない方は1万円）から6万7千円の間で自由に決められる
- 終身年金。80歳前で亡くなった場合は、死亡一時金がある
- 保険料は全額社会保険料控除の対象になる
- 一定の要件を満たす若年層には保険料の国庫補助がある

農業者年金シミュレーター

〈農業委員会事務局〉 電話(525)3779

まずは自分に合った保険料で年金額を試算してみませんか？



『福島市森林経営管理制度実施方針』を策定

令和5年12月より、福島市に存する森林（私有人工林）について、適切な管理が行われるよう、市が森林経営管理法に基づく措置を講ずるための実施方針（具体的内容）を策定しました。福島市HPに詳細を掲載しておりますのでご覧ください。

〈農林整備課 地籍森林係〉
電話(525)3729



農地バンクは地域農業の未来を応援します！

『農地バンク』を活用しましょう！

農地バンクは、農地を貸したい人から借り受け、受け手に対して貸し付け、農地の集積・集約化を進めます

出し手（農地を貸したい方）

契約が明確で、安心して農地を貸せます。

受け手（農地を借りたい方）

契約・賃料精算事務の軽減が図られます。その他各種補助金の要件となっています。

相談したので誰かに頼みたい



高齢で農業をやめたい

農地を集約して作業を効率化したい！



農地を借りて規模拡大をしたい！



ご相談お問合せ

公益財団法人福島県農業振興公社（福島県農地バンク） 〒960-8681 福島市中町8番2号
TEL.024-521-9845(中継り・会津担当) TEL.024-521-9843(流通担当) TEL.024-503-0421(被災12市町村担当)
※または、農地の所在する各市町村農政担当課・各JAまでご相談ください。



携帯・スマートフォンはこちらから
<http://www.fnk.or.jp>

農政4こま



その① スマート農業



スマート農業で省力化を体感



農業用多機能無人車 XAG R150

10月に「スマート農業実演会」を飯坂町東湯野で初開催し、生産力向上や省力化につながる最新機材を紹介しました。



ロボット草刈り機 ロボモア



気象センサー等



農薬散布ドローン

本市ではスマート農業のさらなる推進に向けて、支援策を検討していきます。「こんなスマート農機具を見たい」等の要望がございましたら、お問い合わせください。

〈農業企画課 農政企画係〉 電話(525)3726

- 実演会協力企業
- TEAD株式会社 (農業用無人車)
 - 三陸サービス株式会社、株式会社アクシア (ドローン)
 - 和同産業株式会社 (ロボット草刈り機)
 - 株式会社farmo (気象センサー等)

田んぼダムの貯留量はどのくらい?

令和5年度までに福島市で「田んぼダム」に取り組む16.3haの水田で、降雨による水深が10cmとなった場合、25mプール30杯分に相当する約16,300㎡の雨水を貯留し、排水路や河川へのピーク流出量を抑制することができます。

「田んぼダム」は取り組み面積が広大になるほど大きな効果を発揮します。浸水被害の軽減・防止を図るため、ぜひ取り組みへのご協力をお願いいたします。

※25mプールの規格を、縦25m・横16.5m・水深1.3mとしています。



市HPはこちら

〈農林整備課 農業施設係〉 電話(525)3728

シルバー人材センターICT班による デワーク登録説明会を開催

1月24日(水)、25日(木) 吾妻学習センター
25日(木)、26日(金) 松川学習センター
午前10時～15時 (12時～13時は除く)
1回のサポート時間は約1時間です



市が利用を推進している1日農業バイトアプリ「デワーク」について、アカウント登録、仕事募集登録をサポートします。予約は下記まで。

〈農業企画課 農政企画係〉 電話(525)3726

～公設地方卸売市場からのお知らせ～

出荷者の皆さんへ

福島市公設地方卸売市場の1月から4月までの休場日は次のとおりです。日曜日は3部とも休場日ですので、ご注意ください。



〈市場管理課〉 電話(553)1213

部類	休業日
青果部	毎週水曜日、2月12日(月)、4月29日(月)
水産物部	毎週水曜日、2月12日(月)、4月29日(月) ※ただし2月14日(水)は開場日
花き部	毎週木曜日、1月6日(土)、1月13日(土)、1月27日(土)、2月10日(土)、2月17日(土)

「農政だより」は市HPでも
ご覧いただけます

過去の「農政だより」は、2018年度発行分から福島市ホームページで公開しています。ぜひご覧ください。

〈農業企画課 農政企画係〉 電話(525)3726

